



## CHAPTER 5

# Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、7926G の設定

この章では、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G で利用できる設定について説明します。次のような構成になっています。

- 「ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス」(P.5-1)
- 「ネットワーク プロファイルの設定」(P.5-2)
- 「電話設定の変更」(P.5-11)
- 「電話機でのセキュリティ証明書の設定」(P.5-13)
- 「USB 設定の変更」(P.5-14)

## ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス



[設定 (Settings)] メニューを使用すると、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G に対する多数のネットワーク設定オプションと電話機の設定を表示および変更できます。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G が、Cisco Unified Communications Manager の管理の [電話の設定 (Phone Configuration)] ページから、[設定 (Settings)] メニューにアクセスできるかどうかを制御できます。[電話の設定 (Phone Configuration)] ページで [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration)] セクションの [設定アクセス (Settings Access)] フィールドを使用します。詳細については、「[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G に固有の設定オプション](#)」(P.7-14) を参照してください。

[設定 (Settings)] メニューにアクセスするには、次の手順を実行します。



### 手順

- ステップ 1** ナビゲーション ボタンの  を押して、 (設定) を開きます。
- ステップ 2** 設定を表示または変更するには、次のメニュー オプションを使用します。
- 電話の設定 (Phone Settings)
  - ネットワーク プロファイル (Network Profile)
  - システム設定 (System Configuration)
  - デバイス情報 (Device Information)

- モデル情報 (Model Information)
- ステータス (Status)



(注) これらのオプションは設定可能です。その他のオプションは表示専用です。

- ステップ 3** 設定または表示する項目を選択するには、次のいずれかの操作を実行します。
- ナビゲーション ボタンを使用して、その項目までスクロールしてから、**選択** ボタンを押します。
  - キーボードを使用して、その項目に対応する数値を入力します。
- ステップ 4** メニュー オプションがロック  されている場合は、キーボードで \*\* # を押す必要があります。メニューがロック解除されている場合は、 が表示されます。

#### 関連項目

- 「ネットワーク プロファイルの設定」 (P.5-2)
- 「電話設定の変更」 (P.5-11)
- 「電話機でのセキュリティ証明書の設定」 (P.5-13)
- 「USB 設定の変更」 (P.5-14)

## ネットワーク プロファイルの設定

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G では、特定の WLAN 用のネットワーク プロファイルを設定できます。企業の支店間を移動するユーザには、各 WLAN の場所に対して個別のネットワーク プロファイルを割り当てることができます。各場所に対するローカル SSID、WLAN 設定、および認証情報で、プロファイルを設定アップできます。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G が、Cisco Unified Communications Manager の管理の [電話の設定 (Phone Configuration)] ページから、[ネットワーク プロファイル (Network Profiles)] メニューにアクセスできるかどうかを制御できます。[電話の設定 (Phone Configuration)] ページで [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration)] セクションの [設定アクセス (Settings Access)] フィールドを使用します。詳細については、「Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G に固有の設定オプション」 (P.7-14) を参照してください。




次の項では、ネットワーク プロファイルの設定に関する情報を提供します。

- 「ネットワーク プロファイルへのアクセス」 (P.5-3)
- 「プロファイル名の変更」 (P.5-3)
- 「ネットワーク設定の変更」 (P.5-4)
- 「DHCP の設定」 (P.5-6)
- 「ネットワーク プロファイルに対するワイヤレス設定」 (P.5-9)

## ネットワーク プロファイルへのアクセス

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G で、[ ネットワーク プロファイル (Network Profiles) ] メニューを表示または設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [設定 (Settings) ] > [ ネットワーク プロファイル (Network Profile) ] を選択します。
- ステップ 2** 設定するプロファイル名を選択するには、次のいずれかの操作を実行します。
- ナビゲーション ボタンを使用して、その項目までスクロールしてから、**選択** ボタンを押します。
  - キーパッドを使用して、その項目に対応する数値を入力します。
- [ ネットワーク設定 (Network Config) ] リストはロック  されています。
- ステップ 3** プロファイルでネットワーク設定をロック解除するには、\* \* # を押します。 が表示されます。
- ステップ 4** プロファイル設定を表示するには、[ 表示 (View) ] を押します。
- ステップ 5** 次のいずれかのメニュー オプションまでスクロールして選択します。
- **プロファイル名 (Profile Name)**
  - **ネットワークの設定 (Network Configuration)**
  - **WLAN の設定 (WLAN Configuration)**
- ステップ 6** 設定を変更します。詳細については、表 5-1 を参照してください。
- ステップ 7** プロファイル メニューの設定に対する変更を保存するには、[ 保存 (Save) ] を押します。
- ステップ 8** 変更されたプロファイルを使用するには、プロファイル名までスクロールし、**選択** を押します。有効になったプロファイルの横に、 が表示されます。最大 4 個のプロファイルを有効にできます。
- 

## プロファイル名の変更

ネットワーク プロファイルのデフォルト名は、ユーザにとってより分かりやすい名前に変更できます (「Headquarters」や「Branch office」など)。名前は、ネットワーク プロファイルに変更を加える前でも後でも変更できます。

プロファイルの名前を変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [設定 (Settings) ] > [ ネットワーク プロファイル (Network Profile) ] を選択します。
- ステップ 2** 変更するプロファイル名を選択するには、ナビゲーション ボタンを使用して、その項目までスクロールしてから、**選択** ボタンを押します。
- ステップ 3** プロファイルをロック解除するには、\* \* # を入力します。
- ステップ 4** [プロファイル名 (Profile Name) ] を選択します。
- ステップ 5** ソフトキーを押して、各文字を右から左に削除します。次に、新しいプロファイル名を入力します。  
「ネットワーク プロファイルの設定を編集するための注意事項」(P.5-4) を参照してください。

**ステップ 6** [オプション (Options)] > [保存 (Save)] を押して、名前の変更を完了します。

## ネットワーク プロファイルの設定を編集するための注意事項

ネットワーク プロファイルを編集する場合は、電話機のキーパッドから文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドの数字キーを使用すると、数値または割り当てられた文字を入力できません。押すたびに、別の文字の選択肢が表示されます。値を入力する場合は、次のガイドラインに従います。

- 文字の入力：入力する文字が表示されるまで、数字キーを押します（最初に小文字、次に大文字が表示されます）。
- 数値の入力：数値を入力するには、数字キーを押します。
- 末尾の文字の削除：文字列の末尾の文字または数値を削除するには、<< を押します。
- スペースの入力：文字間にスペースを入力するには、**0 ±** を押します。
- ドットの入力：数値間にドットを入力するには、**0 ±** を押します。
- 特殊文字と記号の入力：これらの文字を表示し、入力するには次のいずれかのキーを押します。
  - \* - / = \ : ; を入力するには、**\* #** を押します。
  - スペース + , . ` " | \_ ~ ' を入力するには、**0 ±** を押します。
  - # ? ( ) [ ] { } を入力するには、**# #0** を押します。
  - ! @ < > \$ % ^ & を入力するには、**1 @** を押します。
- エントリの保存：[オプション (Options)] > [保存 (Save)] を押します。
- 編集モードのキャンセル：メニュー オプションまたはメイン画面に戻るには、必要に応じて、[オプション (Options)] > [キャンセル (Cancel)] を押します。

### 関連項目

- 「ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス」(P.5-1)
- 「DHCP の設定」(P.5-6)
- 「代替 TFTP サーバの設定」(P.5-7)
- 「ネットワーク プロファイルに対するワイヤレス設定」(P.5-9)

## ネットワーク設定の変更

ネットワーク プロファイルにアクセスした後に、表 5-1 で、ネットワーク プロファイル設定の説明と参照情報を確認できます。

表 5-1 ネットワークの設定

ネットワークの設定	説明	詳細
DHCP サーバ (DHCP Server)	電話機の IP アドレスの取得元となる DHCP サーバの IP アドレス。	「DHCP の設定」(P.5-6)
MAC アドレス (MAC Address)	電話機の一意的 MAC アドレス。	表示専用。設定できません

表 5-1 ネットワークの設定 (続き)

ネットワークの設定	説明	詳細
ホスト名 (Host Name)	DHCP サーバが電話機に割り当てた、一意のホスト名。	表示専用。設定できません
DHCP を使う (DHCP Enabled)	[はい (Yes) ] : Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) によって、電話機の IP アドレスを取得できます。 [いいえ (No) ] : DHCP の使用をディセーブルにします。電話機のスタティック設定を行う必要があります。	「DHCP の設定」 (P.5-6)
IP アドレス (IP Address)	電話機のインターネット プロトコル (IP) アドレス。	「DHCP の設定」 (P.5-6)
サブネット マスク (Subnet Mask)	電話機で使用されるサブネット マスク。	
デフォルト ルータ 1 (Default Router 1)	電話機で使用されるプライマリ ゲートウェイ。	
ドメイン名 (Domain Name)	電話機が常駐している Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) ドメインの名前。	
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	電話機で使用されるプライマリ DNS サーバ。	
DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	電話機で使用される、オプションのバックアップ DNS サーバ。	
代替 TFTP (Alternate TFTP)	[はい (Yes) ] : このオプションでは、代替 Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバが割り当てられます。 [いいえ (No) ] : このオプションでは、DHCP によって割り当てられた TFTP サーバが使用されます。	「代替 TFTP サーバの設定」 (P.5-7)
TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)	電話機で使用されるプライマリ TFTP サーバの IP アドレス。[代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションを [はい (Yes) ] に設定した場合は、このオプションに 0 以外の値を入力する必要があります。	
TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2)	プライマリの TFTP サーバが使用不能の場合に、電話機で使用されるオプションのバックアップ TFTP サーバ。	
ロード サーバ (Load Server)	電話機がファームウェア更新を受信するサーバの IP アドレス。	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』
CDP を使う (CDP Enabled)	Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、電話機に対して Cisco Discovery Protocol (CDP) を有効または無効にします。	「Cisco Discovery Protocol 設定の変更」 (P.5-8) 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』
設定の削除 (Erase Configuration)	電話機の設定を削除し、工場出荷時の設定にします。	

表 5-1 ネットワークの設定 (続き)

ネットワークの設定	説明	詳細
ハンドセット専用モード (Handset Only Mode)	<p>[はい (Yes)] : 電話機のスピーカーフォンがディセーブルになっていることを示します。</p> <p>[いいえ (No)] : 電話機のスピーカーフォンがイネーブルになっていることを示します。</p>	「Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G に固有の設定オプション」(P.7-14)

## DHCP の設定

Cisco Unified IP Phone ではデフォルトで DHCP がイネーブルになっているため、ネットワークにデバイスを接続したときに、デバイスに IP アドレスが自動的に割り当てられます。ネットワークで DHCP を使用しない場合は、DHCP をディセーブルにし、ネットワーク設定情報を手動で入力する必要があります。詳細については、「[Dynamic Host Configuration Protocol サーバとの相互対話](#)」(P.2-14) を参照してください。

IP 設定値を手動で設定する場合は、次のガイドラインに従います。

- TFTP サーバに IP アドレスが割り当てられていることを確認します。
- デフォルト ルータの IP アドレスが、ホストの IP アドレスと同じサブネットにあることを確認します。



(注) DHCP をイネーブルにした場合は、IP 設定値を設定できませんが、代替 TFTP サーバを設定できます。

## DHCP のディセーブル化

電話機で DHCP をディセーブルにし、IP 設定値を手動で設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** [設定 (Settings)] > [ネットワーク プロファイル (Network Profile)] を選択します。
- ステップ 2** 設定するプロファイル名までスクロールし、[表示 (View)] ソフトキーを押します。
- ステップ 3** \*\*# を入力してプロファイルをロック解除し、ソフトキーを押して変更します。
- ステップ 4** [ネットワークの設定 (Network Configuration)] を選択します。[表示 (View)] を押します。
- ステップ 5** [DHCP を使う (DHCP Enabled)] までスクロールし、[いいえ (No)] を押します。
- ステップ 6** [IP アドレス (IP Address)] までスクロールし、**選択**を押します。
- ステップ 7** [新しい IP アドレス (New IP Address)] フィールドに、電話機のスタティック IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** [オプション (Options)] > [確認 (Validate)] を押してエントリを保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。

他の必要なスタティック フィールドに入力する必要があります。これらのフィールドの説明については、[表 5-2](#) を参照してください。

値の入力については、「[ネットワーク プロファイルの設定を編集するための注意事項](#)」(P.5-4) を参照してください。

表 5-2 DHCP がイネーブルの場合のスタティック設定

スタティック設定	説明
IP アドレス (IP Address)	IP アドレス (システム管理者が電話機に割り当てる固有識別子)。
サブネット マスク (Subnet Mask)	IP アドレスをネットワーク ID とホスト ID に分割し、TCP/IP で区別できるようにするために使用します。
デフォルト ルータ 1 (Default Router 1)	電話機が属するサブネットを超えて、IP ネットワークへの接続を提供するゲートウェイを識別します。
ドメイン名 (Domain Name)	電話機が常駐している Domain Name System (DNS) ドメインを識別します。
DNS サーバ 1 (DNS Server 1) DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	IP アドレスではなく、サーバのホスト名を使用するようにシステムが設定されている場合は、プライマリおよびセカンダリ DNS サーバを識別して、ホスト名を解決します。
代替 TFTP サーバ (Alternate TFTP server)	代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを指定します。「 <a href="#">代替 TFTP サーバの設定</a> 」(P.5-7) を参照してください。
TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)	設定ファイルを取得するために電話機で使用される TFTP サーバを指定します。

## 代替 TFTP サーバの設定

DHCP を使用して Cisco Unified IP Phone に TFTP サーバを指定する場合は、DHCP によって割り当てられる TFTP サーバではなく、代替 TFTP サーバを何台かの電話機に割り当てることもできます。代替 TFTP サーバを電話機に割り当てるには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** [設定 (Settings)] > [ネットワーク プロファイル (Network Profile)] を選択します。
- ステップ 2** 設定するプロファイル名を選択するには、その項目までスクロールしてから、**選択** ボタンを押します。
- ステップ 3** \*\*# を入力してプロファイルをロック解除し、[編集 (Edit)] を押します。
- ステップ 4** [ネットワークの設定 (Network Configuration)] を選択します。
- ステップ 5** [代替 TFTP (Alternate TFTP)] までスクロールし、[はい (Yes)] を押します。
- ステップ 6** [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)] までスクロールし、**選択** を押します。
- ステップ 7** [新規 TFTP サーバ 1 (New TFTP Server 1)] フィールドに、そのサーバの IP アドレスを入力します。これらのフィールドの説明については、[表 5-2](#) を参照してください。  
値の入力については、「[ネットワーク プロファイルの設定を編集するための注意事項](#)」(P.5-4) を参照してください。
- ステップ 8** [オプション (Options)] > [確認 (Validate)] を押してエントリを保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。

## Cisco Discovery Protocol 設定の変更

一部のネットワーク デバイスでは、Cisco Discovery Protocol (CDP) が使用されません。

電話機で CDP パケットを送信するかどうかと、CDP に関連付けられた設定を変更するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 [デバイス (Device) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。
  - ステップ 2 [検索 (Find) ] をクリックし、表示されたリストで電話機を探します。  
この電話機に対する [電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 3 [デバイス情報 (Device Information) ] までスクロールします。
  - ステップ 4 [Cisco Discovery Protocol の設定 (Cisco Discovery Protocol Settings) ] までスクロールします。
  - ステップ 5 プルダウンメニューで、[有効 (Enabled) ] をクリックします。
  - ステップ 6 要求された場合は、[保存 (Save) ] と [リセット (Reset) ] をクリックします。
- 

## 設定の削除

ネットワーク プロファイル設定を削除し、デフォルト設定に戻すことができます。

設定を削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 [設定 (Settings) ] > [ネットワーク プロファイル (Network Profile) ] を選択します。
  - ステップ 2 設定するプロファイル名を選択するには、その項目までスクロールし、**選択** ボタンを押します。
  - ステップ 3 **\*\*#** を入力してプロファイルをロック解除し、[編集 (Edit) ] を押します。
  - ステップ 4 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] を選択します。
  - ステップ 5 [設定の削除 (Erase Configuration) ] までスクロールし、[はい (Yes) ] を押して削除するか、[いいえ (No) ] を押します。
- 

### 関連項目

- 「[プロファイル名の変更](#)」 (P.5-3)
- 「[ネットワーク プロファイルに対するワイヤレス設定](#)」 (P.5-9)



## ネットワーク プロファイルに対するワイヤレス設定

[WLAN の設定 (WLAN Configuration) ]メニューには、アクセス ポイントでの認証のために電話機で使用される設定が含まれています。これらの設定には、電話機で使用される SSID、認証タイプ、暗号化データなどがあります。

ここでは、ワイヤレス設定に関する次のトピックについて説明します。

- 「[WLAN の設定 (WLAN Configuration) ]メニューへのアクセス」(P.5-9)
- 「WLAN 設定の変更」(P.5-10)

### [WLAN の設定 (WLAN Configuration) ]メニューへのアクセス

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G で、[WLAN の設定 (WLAN Configuration) ]メニュー オプションにアクセスするには、次の手順を実行します。

#### 手順

- 
- ステップ 1** [設定 (Settings) ]>[ネットワーク プロファイル (Network Profile) ]を選択します。
  - ステップ 2** 設定するプロファイル名を選択するには、その項目までスクロールし、**選択**ボタンを押します。
  - ステップ 3** \*\*# を入力してプロファイルをロック解除し、[編集 (Edit) ]を押します。
  - ステップ 4** [WLAN の設定 (WLAN Configuration) ]までスクロールし、選択します。
  - ステップ 5** メニュー オプションを表示または変更するには、[編集 (Edit) ]を押します。  
設定については、表 5-3 を参照してください。
  - ステップ 6** [オプション (Options) ]>[保存 (Save) ]を押してエントリを保存するか、[キャンセル (Cancel) ]を押します。
-

## WLAN 設定の変更

[WLAN の設定 (WLAN Configuration) ] にアクセスした後、各設定の説明と参照情報については、[表 5-3](#) を参照してください。

表 5-3 WLAN の設定

ネットワークの設定	説明	詳細
SSID	ワイヤレス アクセス ポイントにアクセスするための固有識別子。	<a href="#">「ネットワーク プロファイルの設定」 (P.4-8)</a>
セキュリティ モード (Security Mode)	<p>電話機が WLAN へのアクセスに使用する認証のタイプです。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ オープン (Open) ] : WEP キー認証および暗号化なしのすべての API に対するアクセス。</li> <li>• [ オープン+WEP (Open+WEP) ] : すべての AP へのアクセスおよびローカル AP での WEP キーを使用した認証。</li> <li>• [ 共有キー+WEP (Shared Key+WEP) ] : ローカル AP での WEP キーを使用した共有キー認証。</li> <li>• [ LEAP ] : ネットワーク内の RADIUS サーバで、ユーザ名と、暗号化されたセキュアなパスワードを交換します (シスコ独自バージョンの EAP)。</li> <li>• [ EAP-FAST ] : ネットワーク内の RADIUS サーバで、ユーザ名と、暗号化によってセキュアであるパスワードを交換します。</li> <li>• [ EAP-TLS ] : クライアント アダプタおよび RADIUS サーバの動的セッション ベースのキーを使用してデータを暗号化します。認証のためにクライアント証明書を使用します。</li> <li>• [ PEAP ] : この方式では、Microsoft MSCHAP V2 認証に基づく名前とパスワードの認証を使用します。</li> <li>• [ 自動 (AKM) (Auto (AKM)) ] : 電話機では、AP とキー管理方式のタイプが選択されます (WPA、WPA2、WPA-PSK、WPA2-PSK、またはワイヤレス ドメイン サーバ (WDS) を使用する必要がある CCKM のいずれか)。</li> </ul>	<a href="#">「ワイヤレス LAN セキュリティの設定」 (P.4-14)</a>
ユーザ名 (UserName)	ワイヤレス ネットワークのユーザ名 (最大 32 文字)。	<a href="#">「ユーザ名とパスワードの設定」 (P.4-16)</a>
パスワード (Password)	ワイヤレス ネットワークのパスワード (最大 32 文字)。	<a href="#">「ユーザ名とパスワードの設定」 (P.4-16)</a>

表 5-3 WLAN の設定 (続き)

ネットワークの設定	説明	詳細
802.11 モード (802.11 Mode)	WLAN で使用されるワイヤレス信号規格。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>802.11b/g</li> <li>802.11a</li> <li>自動-b/g (Auto-b/g)</li> <li>自動-a (Auto-a)</li> <li>自動-RSSI (Auto-RSSI)</li> </ul>	「WLAN 通信の 802.11 規格」 (P.2-3)
省電力モード (Call Power Save Mode)	WLAN で使用する省電力モードのタイプ。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>U-APSD/PS-Poll</li> <li>なし (None)</li> </ul>	「Cisco Unified Wireless IP Phone で使用されるネットワーク プロトコル」 (P.2-9)
スキャン モード (Scan Mode)	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[ 自動 (Auto) ] : コール中の場合、または信号強度 (RSSI) が低い場合に、スキャンが実行されます。</li> <li>[ 連続 (Continuous) ] : コール中ではない場合でも、継続的にスキャンが実行されます。</li> <li>[ シングル AP (Single AP) ] : Basic Service Set (BSS) が失われた場合を除き、スキャンがまったく実行されません。</li> </ul>	『Cisco Unified Wireless IP Phone 7925 and 7926 Series Deployment Guide』

**関連項目**

- 「ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス」 (P.5-1)
- 「ネットワーク プロファイルの設定」 (P.5-2)
- 「電話機でのセキュリティ証明書の設定」 (P.5-13)
- 「電話設定の変更」 (P.5-11)

## 電話設定の変更

[ 電話の設定 (Phone Settings) ] メニューでは、呼び出し音または音量レベル、画面設定、キーパッド設定、およびホームページ設定で、個々の電話機を設定できます。



(注)

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G が、Cisco Unified Communications Manager の管理の [ 電話の設定 (Phone Configuration) ] ページから、[ 電話の設定 (Phone Settings) ] メニューにアクセスできるかどうかを制御できます。[ 電話の設定 (Phone Configuration) ] ページで [ プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration) ] セクションの [ 設定アクセス (Settings Access) ] フィールドを使用します。詳細については、「Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G に固有の設定 オプション」 (P.7-14) を参照してください。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G で、[ 電話の設定 (Phone Settings) ] メニュー オプションにアクセスするには、次の手順を実行します。

## 手順

- ステップ 1** [設定 (Settings)] > [電話の設定 (Phone Settings)] を選択します。
- ステップ 2** 指定する設定の番号を押します (または、設定までスクロールし、**選択** ボタンを押します)。
- ステップ 3** 設定カテゴリの番号を押します。
- ステップ 4** 変更する設定の番号を押します。

設定については、表 5-4 を参照してください。これらの設定の変更に関する具体的な説明については、『Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G User Guide』の「Using Phone Settings」を参照してください。

表 5-4 電話機の音声、画面、およびキーパッドの設定

電話機の設定	説明
<b>音声の設定</b>	
呼出音 (Ring Tone)	電話機の各回線に呼び出し音を割り当てます。
音量 (Volumes)	
呼出音 (Ring)	電話機の呼び出し音の音量レベルを設定します。
スピーカ (Speaker)	スピーカの音量を設定します。
ハンドセット (Handset)	ハンドセットの音量を設定します。
ヘッドセット (Headset)	ヘッドセットの音量を設定します。
アラート パターン (Alert Pattern)	着信コールをユーザに通知するための呼び出し音、振動、またはその組み合わせを設定します。
呼出音出力 (Ring Output)	スピーカ、ヘッドセット、またはスピーカとヘッドセットの両方で呼び出し音が鳴るように電話機を設定します。
<b>画面の設定</b>	
画面の明るさ (Display Brightness)	電話画面の明るさを設定します。
バックライトオフ (Display Timeout)	オフになるまでの電話画面の表示時間を設定するか、タイマーを無効にして画面が常に表示されるようにします。
電波状態を LED で表示 (LED Coverage Indicator)	電話機が使用中で、カバレッジエリア内であることを示すための LED の点滅をイネーブルまたはディセーブルにします。
<b>キーパッドの設定</b>	
どのキーでも応答 (Any Key Answer)	電話機の任意のキーまたはボタンを使用して、呼び出しコールに応答することをイネーブルまたはディセーブルにします。
キーパッドの自動ロック (Keypad Auto Lock)	キーパッドを最後に操作してからキーパッドが自動的にロックされるまでの時間を設定するか、自動ロックをディセーブルにします。
キー操作音量 (Keypad Tone)	キーパッドを押したときの操作音をイネーブルまたはディセーブルにします。
<b>ホームページのカスタマイズ</b>	
左のソフトキー (Left Softkey)	ホームページでメッセージまたは電話帳を有効にします。
<b>Bluetooth</b>	Bluetooth 機能をイネーブルまたはディセーブルにします。

**関連項目**

- 「ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス」(P.5-1)
- 「ネットワーク プロファイルの設定」(P.5-2)
- 「電話機でのセキュリティ証明書の設定」(P.5-13)
- 「電話設定の変更」(P.5-11)

## 電話機でのセキュリティ証明書の設定

セキュリティ機能によって、電話機と Cisco Unified Communications Manager サーバ間で認証された通信ストリームが確立および維持され、転送前のファイルにデジタル署名が実施されます。

認証局プロキシ関数 (CAPF) に関連付けられた必要なタスクの実行後、ローカルで有効な証明書 (LSC) が電話機にインストールされます。LSC は Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定できます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。

あるいは、電話機の [セキュリティ設定 (Security Configuration)] メニューから LSC のインストールを開始することもできます。このメニューでは、LSC の更新および削除も実行できます。

実行する前に、次の点を調べて、対象の Cisco Unified Communications Manager と CAPF のセキュリティ設定が完了していることを確認してください。

- CTL ファイルには CAPF 証明書が含まれている必要があります。
- CAPF 証明書は、クラス内のすべてのサーバで、/usr/local/cm/.security/certs フォルダに格納されている必要があります。
- CAPF は実行および設定されています。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。セキュリティ機能の詳細については、「Cisco Unified IP Phone のセキュリティ機能について」(P.1-10) を参照してください。

CAPF を選択した方法に応じて、LSC のインストール、既存の LSC の更新、または既存の LSC の削除を実行します。

電話機で LSC を設定するには、次の手順を実行します。

**手順**

- 
- ステップ 1** CAPF の設定時に設定された CAPF 認証文字列を入手します。
  - ステップ 2** [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Configuration)] > [Security (セキュリティ)] を選択します。
  - ステップ 3** \*\*# を押して、オプションをロック解除します。
  - ステップ 4** [LSC] までスクロールし、[更新 (Update)] ソフトキーを押します。  
認証文字列を要求するプロンプトが電話機に表示されます。

**ステップ 5** 認証文字列を入力し、[サブミット (Submit)] ソフトキーを押します。

CAPF の設定に応じて、電話機で LSC のインストール、更新、または削除が開始されます。この作業の間、[セキュリティ設定 (Security Configuration)] メニューの [LSC] オプション フィールドに一連のメッセージが表示されるので、進捗状況をモニタできます。プロセスが正常に完了すると、電話機に「インストール済み (Installed)」または「未インストール (Not Installed)」と表示されます。

LSC のインストール、更新、または削除プロセスは、完了するのに長時間かかることがあります。[セキュリティ設定 (Security Configuration)] メニューで [中止 (Stop)] ソフトキーを押すと、いつでもプロセスを中止できます このソフトキーを押す前に、設定をロック解除しておく必要があります。

電話機でプロセスが正常に終了すると、「成功 (Success)」と表示されます。「失敗 (Failure)」と表示された場合は、認証文字列が正しくないか、電話機でアップグレードが有効になっていない可能性があります。CAPF サーバで生成されるエラー メッセージを参照して、適切に対処してください。

[設定 (Settings)] > [システム設定 (System Configuration)] > [Security (セキュリティ)] を選択して、LSC が電話機にインストールされていることを確認できます。LSC が「インストール済み (Installed)」と表示されます。

#### 関連項目

- 「Cisco Unified IP Phone のセキュリティ機能について」(P.1-10)

## USB 設定の変更

USB ケーブルを使用して電話機を設定する場合に、USB 設定の変更が必要になることがあります。電話機には、PC への USB 接続に使用できる 192.168.1.100 のデフォルト USB IP アドレスが割り当てられています。USB ポートの設定を変更する必要がある場合は、次のオプションを利用できます。

- DHCP のセットアップで、PC から IP アドレスを入手することにより、IP アドレスを自動的に取得します。
- この領域に割り当てられた IP アドレスとサブネット マスクを使用します。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G/7925G-EX/7926G で USB ポートの設定を表示または指定するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Configuration)] > [USB] を選択します。

**ステップ 2** メニューを開くには、**選択** ボタンを押します。

**ステップ 3** \* \* # を押して、メニューをロック解除します。

**ステップ 4** DHCP を設定するには、**選択** ボタンを押して、次のいずれかのオプションを選択します。

- PC から IP アドレスを自動的に取得するには、[有効 (Enable)] を選択してから、[保存 (Save)] を押します。これで USB 設定が終了しました。
- スタティック IP アドレスを使用するには、[無効 (Disable)] を選択してから、[保存 (Save)] を押します。



(注) DHCP をディセーブルにした場合は、手順 5 ～ 12 を実行して、IP アドレスとサブネット マスクを入力する必要があります。

DHCP をイネーブルにした場合は、次の手順を実行しないでください。

- ステップ 5** スタティック IP アドレスを変更するには、[IP アドレス (IP Address)] までスクロールし、**選択** ボタンを押します。
- ステップ 6** サブネット上で未割り当ての新しい IP アドレスを入力します。
- ステップ 7** [オプション (Options)] > [確認 (Validate)] を押してエントリを確認します。
- ステップ 8** 変更を保存するには、[保存 (Save)] を押します。
- ステップ 9** 新しい IP アドレスのサブネットを変更するには、[サブネット マスク (Subnet Mask)] までスクロールし、**選択** ボタンを押します。
- ステップ 10** 適切なサブネット アドレスを入力します。
- ステップ 11** [オプション (Options)] > [確認 (Validate)] を押してエントリを確認します。
- ステップ 12** 変更を保存するには、[保存 (Save)] を押します。

#### 関連項目

- 「ネットワークおよび電話機の設定へのアクセス」(P.5-1)
- 「ネットワーク プロファイルの設定」(P.5-2)
- 「電話機でのセキュリティ証明書の設定」(P.5-13)
- 「電話設定の変更」(P.5-11)

